

化学殺菌剤

登録番号：第 20231号

サルバトーレ ME

性状：淡黄色澄明水溶性粘稠液体

その他成分：POE ノニルフェニルエーテル（PRTR・1種）2.2%

有効成分：テトラコナゾール（PRTR・1種）11.6%

有効年限：4年

作用機構分類：殺菌剤分類 3

包装：500ml × 20本

適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラコナゾールを含む農薬の総使用回数
かき	うどんこ病 落葉病	3000~4000倍	200~700 ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
りんご	黒星病 赤星病 うどんこ病 モニリア病	3000倍		収穫45日前まで			
なし	黒星病 赤星病 うどんこ病			収穫21日前まで			
もも	うどんこ病			収穫前日まで			
	黒星病 灰星病	2000~3000倍		収穫7日前まで			
うめ	黒星病		100~300 ℓ/10a	収穫前日まで			
ぺぼかぼちゃ (種子) (露地栽培)	うどんこ病	32倍			1.6ℓ/10a	無人航空機による散布	
かぼちゃ (露地栽培)							

作物名	適用 病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	テトラコナゾールを 含む農薬の 総使用回数
茶	炭疽病 もち病 褐色円星病	2000 倍	200～400 ℓ/10a	摘採 14 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内
ばら	うどんこ病 黒星病	3000 倍	150～300 ℓ/10a	発病初期	7 回以内		7 回以内
たばこ	うどんこ病	3000～4000 倍	100～180 ℓ/10a	収穫 10 日 前まで	2 回以内		2 回以内

[特長]

- * 高い浸透移行性とガス効果(ベイパーアクション)により、速やかに作物のすみずみまで有効成分が行き渡り、高い効果を発揮します。
- * 予防効果だけでなく、治療効果も兼ね備えていますので、発病後の散布でも防除が可能です。
- * 本剤は幅広い抗菌スペクトラムを有しますが、特にうどんこ病には非常に優れた防除を示します。
- * サルバトールはME(マイクロエマルジョン)と呼ばれる液体製剤です。有効成分を少量の有機溶剤と界面活性剤で水に分散させた製剤なので、薬剤調製時に扱いやすく、また作物の汚れも軽微です。

[使用上の注意事項]

- * 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- * 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節すること。
- * 耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。
- * ばらに使用する場合、誤って高濃度で散布すると葉に薬害が生じることがあるので希釈倍数(3,000倍)を厳守すること。
- * なしに使用する場合、高温時及び開花前後～養分転換期に使用すると、葉に軽微な薬害を生じることがあるので注意すること。
- * 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- * 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本剤を「無人航空機による散布」に使用する場合は、次の注意事項を守ること

- 散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
- 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
- 散布薬液の飛散によって他の動植物及び自動車やカラートンの塗装などに影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。

[安全使用上の注意事項]

- * 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- * 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- * 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密封して保管すること。